

8月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 平成29年8月18日（金）

2、閉会年月日 平成29年8月18日（金）

3、出席委員氏名

名倉 幸子 前川 喜太郎 田中 久善

西畑 敦司

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 仲 谷 俊 充

事 務 局 参 与 西 本 宣 康

事 務 局 次 長 岡 本 匡 史

教 育 総 務 課 長 西 岡 昭 人

生 涯 学 習 課 長 嶋 崎 博 康

文 化 財 課 長 松 本 洋 明

学 校 教 育 課 指 導 係 長 綿 谷 圭 介

教 育 総 合 セ ン タ ー 指 導 主 事 森 下 知 永 子

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 土 田 裕 彦

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題 なし

日程第3 報告 平成29年度古墳出土鏡铸造体験について

6、会議の経過議題

開会 午後 1時30分

閉会 午後 1時52分

1 教育長

定刻になりましたので、ただいまから8月定例教育委員会を開会させていただきます。

本日の署名委員は、名倉委員と前川委員をお願いいたします。

それでは日程第1、私からの報告です。

レジュメ2ページになります。

4日に学校・地域パートナーシップの研修会を開催されまして、生涯学習課から若干の組織の変更について、説明のほうをしていただき、どのように地域パートナーシップを進めていくか研修を持たれました。

また、8日は青少年健全育成の市民会議の総会のほう、どうもありがとうございました。

17日に福住の氷まつりに行かせていただきましたが、今年度、今回2月に氷をおさめられたときかなり工夫をしていただいたということで、去年は数キロだったのですけれど、ことしは815キロ残ったということで、3トンが815キロ残ったということで、かなりことしも暑かったのですけれども、格納方法を工夫されたとのことでそういうふうに残ったということです。

それで22日にふれあいコンサートのほうに行かせていただいて、天理市内の中学生、頑張って演奏してくれました。また西中、天理中学のほうは県の8月のコンクールで金賞ということで、西中のほうは近畿大会のほうは出場できないということですが、それでも頑張ってくれました。

あと一つ、13日に通学路の安全対策推進会議に行かせていただいて、そこでいつも思うことですが、天理市のほうは安全対策会議、

通学路についての会議を他市町村に比べてかなり頻繁に行っていた
いてるのだなということ、どこも天理市と同じようにされていると思
っていたのですが、他市町村と比べたら天理市は、多くの会議をして
いただいて、通学路の安全のほうの対策を図っていただいていること
がよくわかりました。これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

今の説明に関して何か質問はございますか。次にいかせてもらって
よろしいですか。

では日程第2になります、本日の議題のほうはございませぬ。

続きます、日程第3の報告のほうにいかせていただきたいと思ひ
ます。

文化財課から、平成29年度古墳出土鏡鑄造体験についてよろしく
お願ひします。

1 文化財課長

文化財課から報告ということで説明させていただきます。

お手持ちの資料の3ページ目ですけれども、平成29年度古墳出土
鏡の鑄造体験についてということで簡単に書かせてもらっています。

この事業は地方創生推進交付金事業を使いまして、総合政策課にい
ろいろ調整をいただいて、文化財課のほうがこういう公開活用できる
ものの一環として、この鏡の鑄造を体験できるそういうキットが今文
化財に関係する業者から出てきているものですから、それを天理市に
とりましては黒塚古墳から三角縁神獸鏡とか多数の鏡が出てるもので
すから、それをモデルにしたら天理独自の鑄型がつかれるのではない
かということで、そういうアイデアで始めたわけであります。

今回古墳事業でつくりましたのは鏡のモデルをつくるためのシリコ

ンの鋳型12セット分と、それからそれを使います低温で溶ける、100度ちょっとで電気コンロで溶けさせることができる、そういうインゴットという金属なのですが、その合金と、それから一式の道具類を購入いたしました。それでまず手始めにこの道具類が7月の中旬に入ってまいりましたので、早速ですけれども7月23日の日曜日、午前中にですけれども文化センターで体験学習というのを行いました。これは事前に日にちのほうは早くから決めておりましたので、それで済んだのですけれども、7月はちょうど夏の文化財展ということで、ことしはちゃんちゃん祭りの展示をしていたのですが、その講演会場を使って体験学習をいたしました。写真のほう資料の下半分載せておきますけれども、最初に学習ということで、文化財の古代の人が鏡をつくるということがどのようなものなのかという、そういうイメージを持ってもらうために、それを学習してもらうためということで、まずは最初5分から10分ほどですけれども、古代の鏡について黒塚古墳から出土した鏡の説明をいたしまして、始めたということでございます。ちょっと一つ飛ばしましたが、参加者ですけれども、実はこれにはセットが12セットですので、1人1セットで考えますとどうしても1回の体験に12人が限界だということで、10時から12時までということですから、1時間単位としまして2回に分けてやるということで10時始まり、11時始まりということで、公報誌まちからまちへ、あるいは市のホームページを使いまして候補をとりまして、その日募集のほうでは24人満杯になったのですけれども、直前にちょっと3名ほど断りがありましたので、参加者数が21名ということで参加いただきました。そのうち大人は11名、子供が10名という

ことになります。子供の内訳は中学生が1名、9人は小学生ということになります。実際にはお母さんと来られてる方がおられましたので、使いました鋳型は16セットということで16個と書いていますけれども、16セットを使ったということになります。そのうち10分間ですけれども写真のほうにありますように、担当の者がスライドをとおして古代に鏡があったのだよという話をしまして、それをつくってみましょうということで体験をするのですが、会場の後ろのほうにテーブルを置きまして、それで体験していただくということで、後ろのほうに写真は下ですけれども、それぞれ参加していただいている方が着席していただいて、道具を使うということになります。これは簡単なやり方ですが、電気コンロを置きまして、それにラーメンを炊くような鍋を置きましてそこに金属を入れますと3分から5分くらいの間で溶けまして、その溶けた金属を鋳型に流し込んでというところで、そこまでを溶かすのはこちらですのですが、流し込みを実際に体験していただく、本人にゆっくりと流し込みを体験してもらって、流し込みをしてしまいますと今度は5、6分ほど冷ますまでに鋳型をそのまま置いておきまして、その間にいろいろその後の磨き方の説明を担当の者がそれぞれ体験に来てるお母さんや子供さんに説明して、時間が来ましたら鋳型を開いていただくと、開くとまん中に鏡ができ上がっているというような感じになります。出来上がった鏡ですが、2枚目後ろを見ていただきましたらどんなものを用意してたかということですが、6種類ございまして、6種類の2セットずつを鋳型をつくったということになるのですけれども、1番から3番までは黒塚古墳から出た鏡をモデルにした鏡、それから4番から6番までは同じ柳本町なの

ですけれども、伊射奈岐神社という柳本の神社がありまして、その境内に大和天神山古墳という古墳がありまして、そこからもたくさんの鏡が見つかっていますので、その鏡をモデルにしてつくったものが4番から6番ということになります。今見ていただいている写真より、もう一回り小さくなりますけれども、大体これぐらいの大きさのものを鋳型でつくっていただくようになります。実物は20センチ、小さいもので15、6センチ。大きな物で24、5センチになりますので、実物はもっと大きいですが、なかなか大きなものは溶かすのは大変ですので、手ごろサイズの大きさのものを溶かす道具も手ごろな重さの程度で済ませるような形で注文したということになります。皆さんこの経験のほうは初めての方が多かったのですが、やはり磨いてつくるところが非常に興味があったみたいで、実際には溶かして鋳型から外すまでは10分程の工程ですが、その後大体30分程かけてサンドペーパーの細かいやすり部分を使いまして、まずは粗削りをする。その後さらに水引きといたしまして、水で細かなペーパーを使ってどンドン磨くことで光沢が出てくると。最終的に金属の光沢を出させるそういう道具、ピカールを使って光らすということで、一応1時間、時間超えてその後も残られて、磨いて帰られたお客さんが数名おられましたので、皆さん体験としては楽しんでいただいたのかなと、こちらとしても初めてやりました事業だったので、何とかこういう形でやっていくのかなというふうに思っております。

今後の計画なのですが、この秋に一応ここには資料のほうは29年の秋季ということになっていますけれども、黒塚古墳展示館のところ

で11月3日、文化の日と11月23日の祝日に一応また公開で体験をしようかということで現在計画を進めているところです。また、2月11日ですけれども、このときにも黒塚古墳展示館で特別講座といひまして、鏡のお話会をするものですから、そのときにも、この体験を、このときは大人の方ばかりになりますけれども、そういった方々にも体験をしてもらおうかということで計画をしています。あとまた、30年と冬の文化財展ですね、29年度の2月になります、冬の文化財展でも会場を使ってこの体験のイベントをしようと考えておりますので、一応そういう形で鑄造体験のほうはまずは7月23日に1回目の体験をすえましたという形で報告をさせていただきます。

以上です。

1 教育長

ありがとうございました。今の説明で何かご質問ございますか。

1 名倉委員

皆さんの関心度がどんなものかなと思ひまして、予約が初め24名だったのですけれども、それ以上の予約はあったのでしょうか。

1 文化財課長

はい、実は予約の上限を設けておひまして、2件ほど人数がいっぱいになったのでお断りをしたケースがあったのですけれども。一応24名ということでおさえておきました。

1 名倉委員

そうですね。だんだんと周知されてきたらもっと予約のほうもいっぱいになって皆さん興味持たれるかなと思ひますね。

1 文化財課長

そうですね、はい。こちらのほうも、もうちょっと手さばきといい
ますか、教え方も、工夫もさせていただいて、かつ材料ももうちょっ
とあれば人数もふやせるかと思うのですけれども。鑄型の数が大体、
体験していただく人数の数と引き合いになっていますので、一応そう
いうふうに考えております。

1 名倉委員

はい、ありがとうございます。

1 教育長

前川委員。

1 前川委員

参加した子供さんは小学生ですか。

1 文化財課長

そうですね。そちらに内訳を表記しておくべきだったと思うのです
けれども、全員で10名、今回7月23日に来られました参加者数で
すけれども、1回目と2回目含めまして21名ですが、そのうちの1
0名の方が子供さんでして、私のほうで今把握しておりますのは、前
栽小学校の生徒さんが4名、それから井戸堂小学校の生徒さんが1名、
朝和小学校の生徒さんが1名、山の辺小学校の生徒さんが2名、あと、
大和郡山市から小学生の方1名と中学生の方1名が参加したというこ
とになります。

1 前川委員

これ学校ではこの鏡の勉強というのはどの学年から初めて学ぶので
すかね。

1 学校教育課指導係長

6年生の社会科でだと思います。

1 前川委員

はい、ということはまだ教科書では習ってないけれども、こういう体験をした子どもは、多分もうちょっと小さい子どもですよ。6年生以下の。だからその事前学習というのは多分大切になると思うのです。この鏡というのはどういう当時使い方をしてたかとか、あるいはつくり方もどういうふうにつくるというのは初めて、私も研磨というのが今回は紙やすりでされたということですが、当時はどういうふうに研磨されたかというようなことは事前の研修、事前といいますか、その当日の最初の学習でされるのですか。

1 文化財課長

そうですね、最初に鋳型から外した後のどんなふう作業するかということは一応話の中に説明を入れておいて、実際には始められましたら文化財課の担当の者が横についておまして、「こういうふうにしてください」という手の持ち方から、磨き方という手順を直接指導するような形でしていました。

1 前川委員

教科書では写真でしか見られないことをやはり実際につくる過程から学ぶということは大変重要なことだと私も思うのです。そのためにはしっかりと学習もして、また子供たちに興味が今後も生きるような形で工夫して下さったらと思いますので、よろしくお願ひしたいと、今後続けてくださる。鋳型はずっと使えるのですね。

1 文化財課長

鋳型は何回も使えるとは聞いているのですけれども、だめになれば

また。

1 前川委員

どうぞよろしく今後も活用していただけたらと思います。

1 教育長

これは鏡に映るようになるのですか。

1 文化財課長

磨けば映ります。ちょっと持ってきたのですが、何もなしではあれかと思うので。袋から出していただいでご覧ください。

今、教育長が持っていたものは鋳型からあがったそのままのものです。それから磨きをかけていただくこととなります。

1 教育長

柄がきれいに出るのですね。

1 文化財課長

柄も、きれいに出ます。

もっと磨けばいいのですが、多分それは見本でしてますので、まだまだ磨きが足りないと思います。鋳型はシリコンで、それが低温で溶ける特殊な合金ですけれども。

1 前川委員

やけどの心配は全くないわけなのですね。

1 文化財課長

そうですね。やけどしないのですが、一応手袋はつけていただいでいます。

1 西畑委員

これ、先ほども前川委員の話にもあったのですけれど、この磨き方

というのは当時の磨き方そのものではないのですよね。

1 文化財課長

当時の磨き方はわかりません。当時使っていた道具もどんなもので磨いてるのかはまだわかりませんが、これはどちらか言いますと半分は知的学術的なものじゃなくて体験的なものだと思いますので、一応、磨きについては今現在あります水引きのサンドペーパーを買ってきて、大体これくらいの大きさにセットしまして、それで磨いていただくという、結構1時間ぐらい磨いてないとなかなかきれいな表面が滑らかにならないみたいですね。ですので、時間を超えてまで皆さん残っていただいてしていただきました。

1 西畑委員

その磨き方が今、わかっていないという説明はその前のスライドの中ではされていますか。

1 文化財課長

それは現在のあるものを使ってということで説明しています。

1 西畑委員

それがそれだけ貴重なものだということが、きちんと参加者の皆さんに理解していただいて、そういう貴重なものがなぜこの土地から出ているのかというようところが、きちんと参加者の皆さん理解してもらおうと、それは何故だというところでこの奈良県の文化財、天理市の文化財というものが貴重だねというふうな話まできちんとつながっていればいいなと思うのですけれども。

1 文化財課長

そうですね。それでまた黒塚展示館に来ていただければ一番ありが

たいのですけれども。

1 西畑委員

あともう一つ、これがその例えばP T Aとか、地域の歩こう会じゃないですけれども、そういうふうなところで、もし黒塚古墳まで行ってというふうなことをしたときに、こういう体験をさせてもらおうというようなプログラムみたいな、さすがに事前予約制でちゃんと材料代は負担というようなことで、そういうようなプランとか考えられるようなことはありますか。

1 文化財課長

確かに今、言っていたことで「なるほど」と思ったのですが、今とりあえず、先ほども計画をこなすという形で行事に出しているのですけれども、ちょっとそれは、そういう希望があれば、それも1人2人じゃなくて団体でご希望があれば、確かにそれはこちらも考えてみる必要があるかなと思いますので、内部でまた検討はしてみたいと思います。

1 西畑委員

よろしく願いいたします。

1 田中委員

小学生は、合計10名ですか。

1 文化財課長

中学生1名で、小学生は9名ですね。

1 田中委員

9名ですよ。この体験の感想とかはないですか。

1 文化財課長

感想はないですね。

1 田中委員

外から言うと、子どもたちがどういう興味を持っているのかがわからなかったら次の手を打てないのではないかと思いました。

1 文化財課長

そうですね。

1 田中委員

あればよかったかなと思いましたね。

以上です。

1 文化財課長

大体お母さんに連れられて来たなというような感じでした。

1 教育長

ぜひ体験ということで、委員からいろいろな意見が出たので、またそれを参考にしていただけたらと思います。よろしいですね。

これもちまして、本日の定例教育委員会を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午後 1時52分